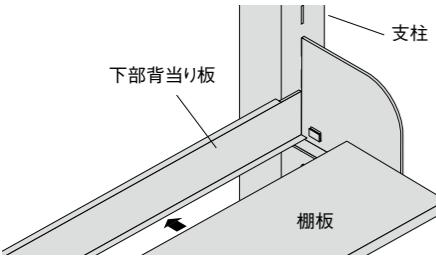


## オプション部品の取付け

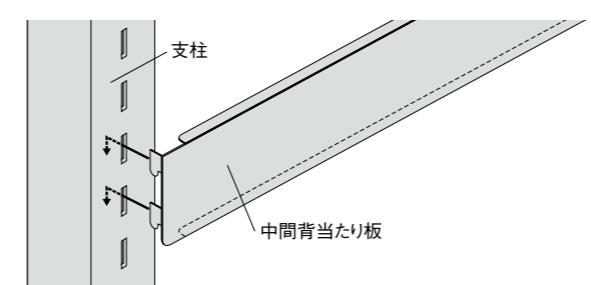
### 下部背当り板

下部背当り板を支柱に当てて棚受に載せ、その上に棚板を載せて取付けます。



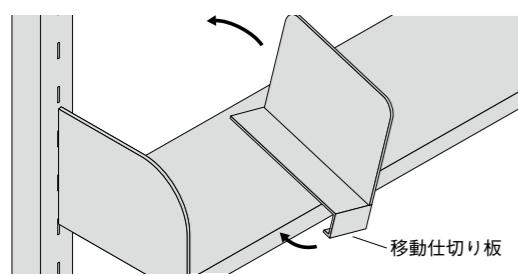
### 中間背当り板

中間背当り板端部の爪を支柱孔に引っかけ、取付けます。



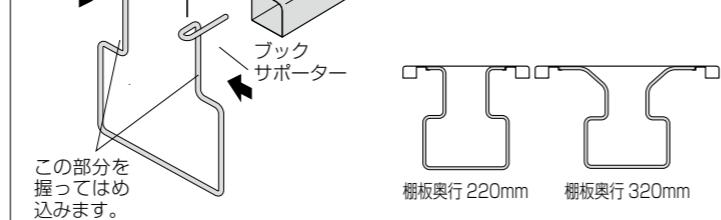
### 移動仕切り板

移動仕切り板のベースプレートのコの字部分を棚板前側（手前端）に引っかけます。



### ブックサポーター

ブックサポーターのロッド部分を手で握ってせばめ、棚板裏側の折り返し部分にはめ込みます。

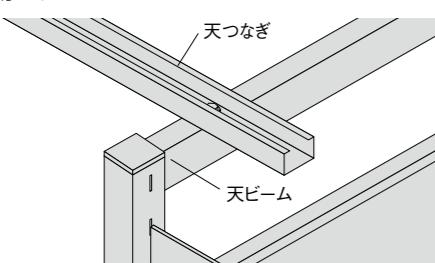


棚板奥行 220mm 棚板奥行 320mm

### 転倒防止対策

#### 天つなぎ

隣合う単柱書架に天つなぎを渡して、フランジ付六角ボルト（M8×15,FN）止めすることにより、書架どうしが互いに支え合い、転倒防止に有効です。



## お手入れの方法

- ・著しい汚れは、薄めた中性洗剤につけた布をよく絞って、汚れを拭いてください。その後、乾いた布でから拭きしてください。
- ・ベンジン・アルコール・シンナー類及び化学ぞうきんは使用しないでください。表面仕上げのキズや変色の原因になります。

## 故障と思う前に（不調診断）

トラブル内容	処置方法
棚本体がグラつく	各爪部が確実に入っていますか ▼ 確実にはめ込んでください
棚板がガタつく	棚受の爪が支柱にきちっと入っていますか ▼ 確実にはめ込んでください

回収・リサイクルに関する連絡先

三進金属工業株式会社 品質保証部

072-436-3600

## 取扱説明書

### 単柱書架 TS型



JIS S 1039



エコマーク商品  
エコマーク認定番号  
第8130003号  
※木製化粧パネル付きは除く。

SIAA  
抗菌塗装  
無機抗菌剤セミオミック含有塗装。  
銀イオンの特性を利用して、国際的  
に認証された安全技術。

1段当りの最大積載質量(等分布載荷)は棚板サイズにより異なります。  
棚板奥行 220mm の場合 40kg/段 (JIS 1種認証品)  
棚板奥行 320mm の場合 60kg/段 (JIS 2種認証品)  
●集中荷重になりますと、耐荷重能力は半減します。

このたびは、単柱書架をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この説明書は、商品の使い方と使用上の注意事項及び組み立て方について記載しています。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

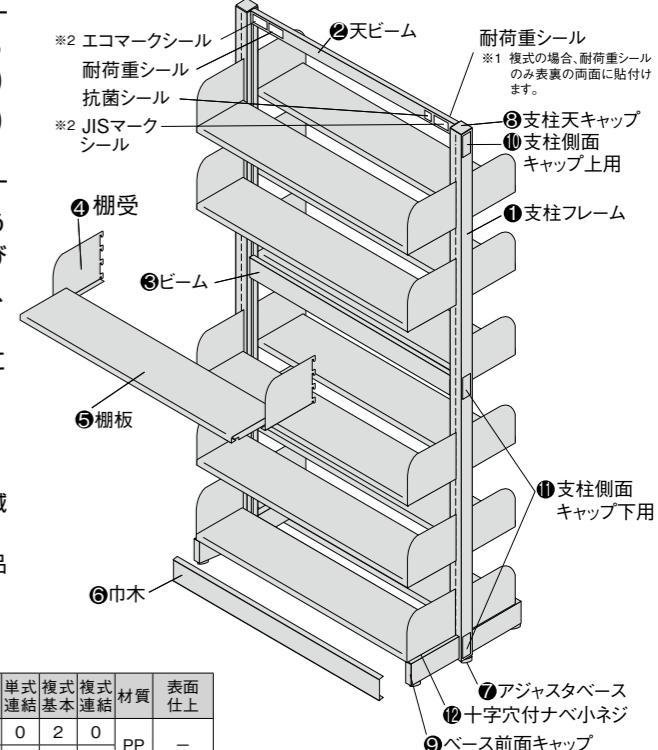
次の場合、JIS 表示に関わるメーカー責任は発生いたしません。

- ・JIS 規格認証製品としてお買い求めの後、お客様自身が棚板の増設や削減を実施した場合。
- ・JIS 規格認証製品として使用後、書架の組み替えや移設などで JIS 認証品としての規格外が生じた場合。

#### 1台当り部材(6段仕様の場合)

番号	品名	単式 基本	単式 連結	複式 基本	複式 連結	材質	表面 仕上	番号	品名	単式 基本	単式 連結	複式 基本	複式 連結	材質	表面 仕上
①	支柱フレーム(単式・複式別)	2	1	2	1	スチール	粉体塗装	⑩	支柱側面キャップ上用	2	0	2	0	PP	—
②	天ビーム	1	1	1	1			⑪	支柱側面キャップ下用	4(6)	0	4(6)	0	ユニクロメキ クロメキ	
③	ビーム	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)			⑫	十字穴付ナベ小ネジ(M5×15,SW)	4	4	8	8	ユニクロメキ クロメキ	
④	棚受(左右各)	左6 右6	左6 右6	左12 右12	左12 右12			※	オールアンカー(C-850)	4	2	4	2	ユラ ロメ キ	
⑤	棚板	6	6	12	12			※	低頭ナット(M12)	4	2	4	2	クロメキ	
⑥	巾木	1	1	2	2			※	ベース固定金具	4	2	4	2		
⑦	アジャスターベース	4	2	6	3	PP	—	※	壁面固定金具	2	1	—	—		
⑧	支柱天キャップ	2	1	2	1			※	フランジ付き六角ボルト(M6×15, FN)	2	1	—	—		
⑨	ベース前面キャップ	2	1	4	2			※	オールアンカー(C-645)	2	1	—	—		

\*は付属品 ( ) はオプション装備 < > はH2575の場合



※2  
お客様発注時のご指定により貼付け  
いたします。

図はオープンタイプ1連複式です

## 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

### 警告

この警告事項を守らなければ、死亡または重傷などを負う可能性があります。

集中荷重をかけないでください。最大積載質量より重いものを載せないでください。

棚一段当りの最大積載質量は等分布載荷です。集中荷重をかけたり、最大積載質量より重いものを載せると棚板がたわみ、荷物が落し、ケガをする恐れがあります。

分解禁止。  
分解・移設は専門業者にお任せください。

転倒などの事故になることがあります。

安全保安部品(ボルト等)をはずして使用しないでください。

ビームがはずれ棚が転倒し、事故によってケガをする恐れがあります。

廃棄するときは、専門業者にお任せください。

危険物(薬品・壊れ物等)を収納しないでください。

人体や衣類等を傷つけることがあります。

爪が確実に入っていない状態で使用しないでください。(定期的に点検してください)

本体が壊れてケガをする恐れがあります。

ボルトやナットがゆるんだまま、使用しないでください。(定期的に点検してください)

本体が壊れてケガをする恐れがあります。

### 注意

この注意事項を守らなければ、傷害を負うかまたは物的損害が生じる可能性があります。

足を掛けたりよじ登ったりしないでください。

転倒してケガをしたり、棚が変形・破損する恐れがあります。

荷物を投げて載せないでください。

棚板がたわみ、書架が破損し、ケガをする恐れがあります。

棚本体に寄りかからないでください。

棚の積載物、積載量によって、棚が倒れケガをする恐れがあります。

製品の孔に指を入れないでください。

孔に指を入れると、ケガをする恐れがあります。特に小さなお子様には気をつけてください。

不安定な床面に設置しないでください。

棚が傾いて荷物が落下し、ケガをする恐れがあります。必ず水平な床面に設置してください。

異常を発見したまま使用しないでください。  
本体が壊れてケガをする恐れがあります。

上下を確認の上、正しく使用してください。

棚板を逆向きに使用すると、ケガをする恐れがあります。

雨水・湿気の多い場所では使用しないでください。

サビにより本体が壊れてケガをする恐れがあります。

適切な換気をしてください。

購入当初は、稀に化学物質の発散ががありますので、しばらくの間、換気や通風を十分に行うように心がけてください。また、室温が著しく高温多湿となる場合（室温28°C、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。

やけどの火災の原因になります。

回収・リサイクルに関する連絡先

回収・リサイクルに関する連絡先

三進金属工業株式会社 品質保証部

072-436-3600

## 本体の組み立て

### 組立上の注意

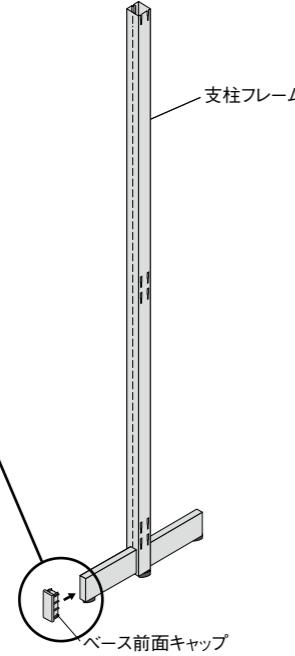
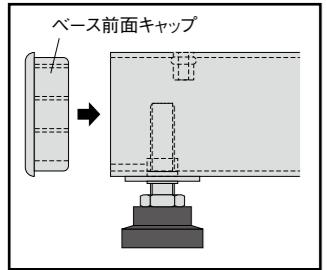
**組み立ては広い場所で行ってください**  
狭い場所で組み立てると、部材が周囲の人  
にあたり、ケガをさせたり、家具等に傷を  
付ける恐れがあります。

**不安定な床面に設置しないでください**  
棚が倒れケガをしたり、荷物が破損する恐  
れがあります。必ず、水平な床面に設置し  
てください。

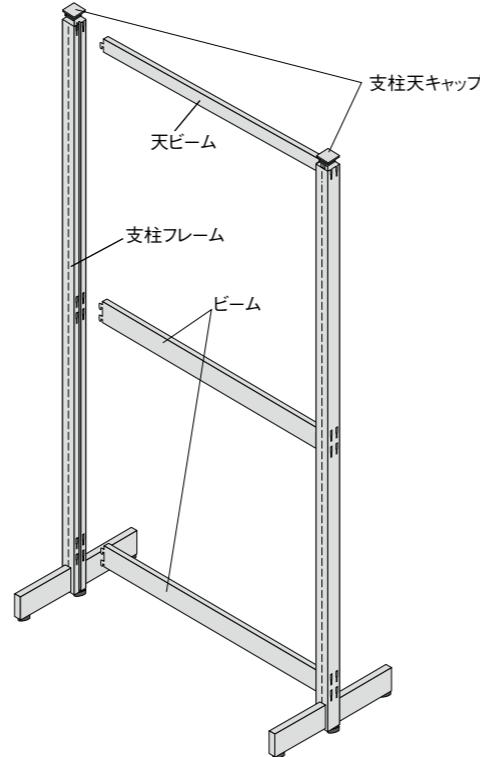
**組み立て時は手袋等の保護具をご使用  
ください**  
手を金属部分でケガをする恐れがあります。

**1 支柱フレームにベース前面キャップを取り付けます。**

※単式の場合、支柱フレームには  
左右があります。

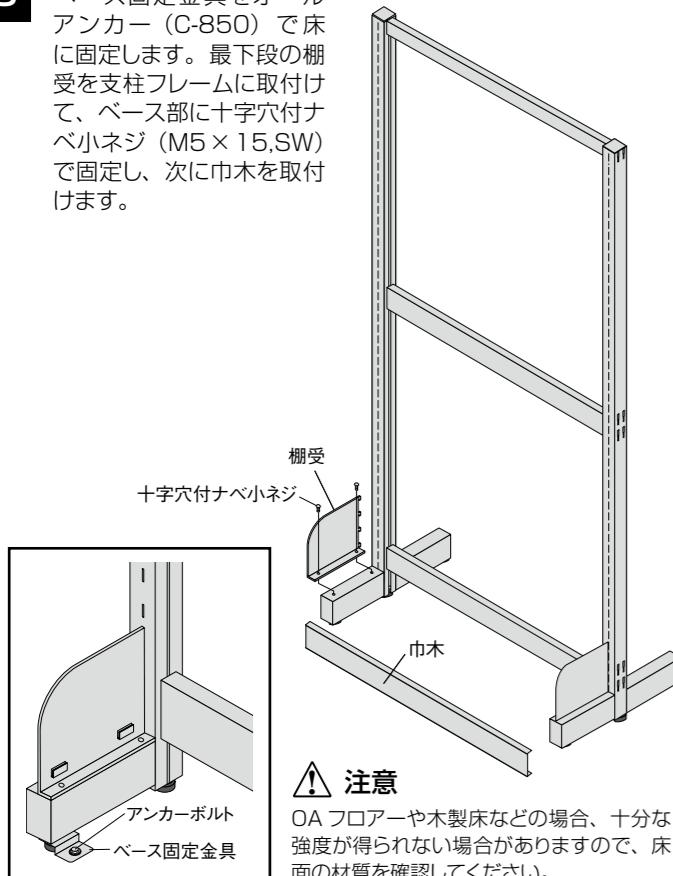


**2 支柱フレームに下段から順にビーム、天ビームをはめ込み、支柱天キャップを取り付けます。**



※ H2575 タイプはビームは 3 本になります。

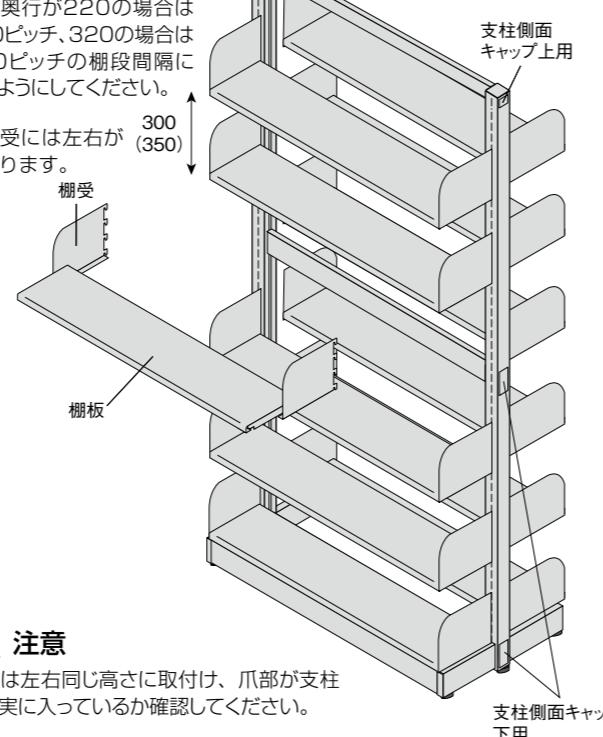
**3 ベース固定金具をオール  
アンカー (C-850) で床  
に固定します。最下段の棚  
受を支柱フレームに取付け  
て、ベース部に十字穴付ナ  
ベ小ネジ (M5 × 15, SW)  
で固定し、次に巾木を取付  
けます。**



**4 棚受を左右等ピッチになるように支柱フレームの長孔に引  
っかけ、棚板を取り付けます。支柱端部の外面に支柱側面キャッ  
ップ（上用・下用）を取り付けます。**

棚板奥行が 220 の場合は  
300 ピッチ、320 の場合は  
350 ピッチの棚段間隔に  
なるようにしてください。

※棚受には左右が  
(350)  
あります。



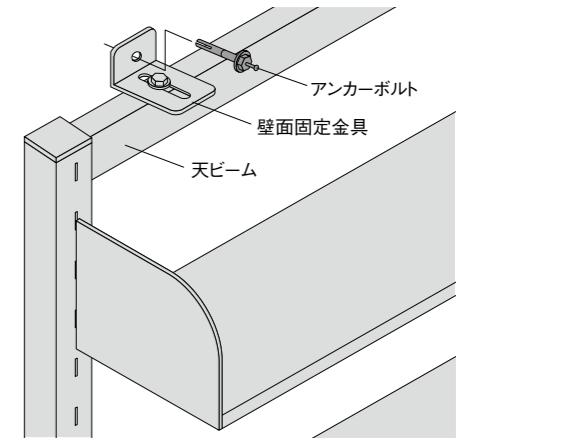
### 注意

OA フロアーや木製床などの場合、十分な  
強度が得られない場合がありますので、床  
面の材質を確認してください。

## 本体の組み立て

**5**

単式タイプの場合、壁面固定金具で壁面に固定します。  
金具を天ビーム上部の丸孔にフランジ付六角ボルト (M6 ×  
15, FN) で取付け、壁面にアンカーボルトなどでしっかりと  
と固定します。



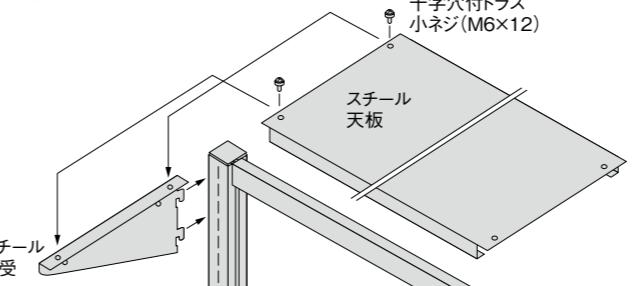
### 注意

プラスチックボードやベニヤ板などの壁の場合は、十分な強度が得られない  
場合がありますので、壁の材質を確認してください。

## 木製パネル取付方法（オプション）

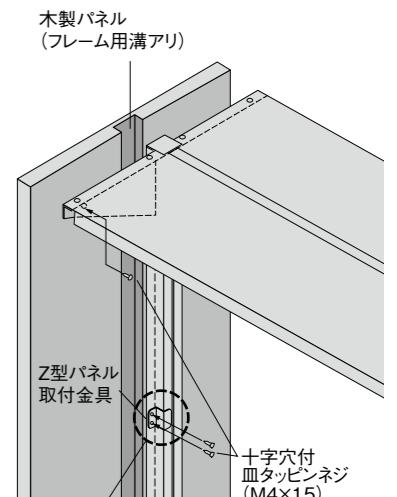
**1**

パネルは最下段の棚板と巾木を外した状態で組立てます。  
支柱側面キャップは外してください。  
スチール天受を支柱フレームの最上部と三番目の長孔に引  
っかけ、スチール天板を載せて十字穴付トラス小ネジ (M6 ×  
12) で取付けます。



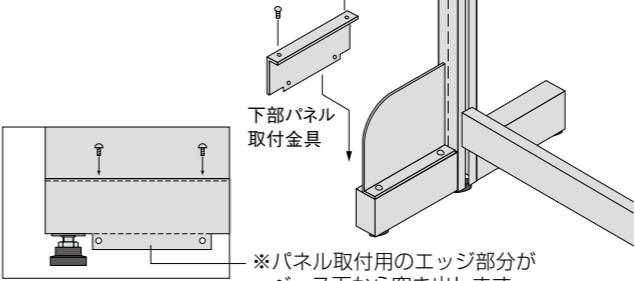
**3**

木製パネルの溝を書架  
のフレームに合わせな  
がらて、スチール天  
受とパネルを十字穴付  
皿タッピンネジ (M4  
× 15) で、下部パネ  
ル取付金具とパネルを  
十字穴付トラスタッピ  
ンネジ (M4 × 10) で  
取付けます。



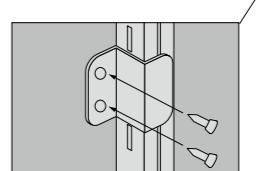
**2**

下部パネル取付金具を  
支柱フレームに十字穴  
付ナベ小ネジ (M5 ×  
15) で取付けます。



**4**

Z型パネル取付金具を  
支柱にあて、十字穴付  
皿タッピンネジ (M4  
× 15) で取付けます。  
※取付け位置は下記を  
参照ください。



### Z型パネル取付金具の取付位置

下図を目安に棚受けに当たらない位置に均等に取付けてください。

H1975

単式

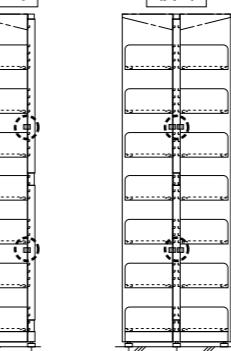
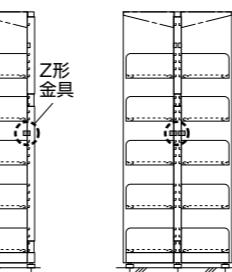
複式

H2275・H2575

単式

H2275・H2575

複式



### 木製パネル構成表

品名	単式 基本	単式 連結	複式 基本	複式 連結
木製パネル単式用(左右あり)	右1左1	0	—	—
木製パネル複式用	—	—	2	0
スチール天受(左右あり)	右1左1	右1左1	右2左2	右2左2
スチール天板	1	1	2	2
十字穴付トラス小ネジ(M6×12)	4	4	8	8
下部パネル取付金具	2	0	4	0
十字穴付ナベ小ネジ(M5×15)	4	0	8	0
Z型パネル取付金具	2(4)	0	4(8)	0
十字穴付皿タッピンネジ(M4×15)	8(12)	0	16(24)	0
十字穴付トラスタッピンネジ(M4×10)	4	4	8	8

※( )内の値は2275-2575用の部材数